

---

---

**福祉サービス第三者評価  
評価結果報告書**

---

---

社会福祉法人 さとり  
ナーサリースクール T&Y 中央林間

平成 26 年 12 月 24 日

株式会社 フィールズ

# 目次

## 評価結果総括

|                          |   |
|--------------------------|---|
| ■ 評価方法 .....             | 2 |
| ■ 総合評価 .....             | 3 |
| ■ 評価領域ごとの特記事項 .....      | 4 |
| 人権の尊重                    |   |
| 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供 |   |
| サービススマネジメントシステムの確立       |   |
| 地域との交流、連携                |   |
| 運営上の透明性の確保と継続性           |   |
| 職員の資質向上                  |   |

## 分類別評価結果

|                      |    |
|----------------------|----|
| ■ 利用者本人の尊重 .....     | 8  |
| ■ サービスの実施内容 .....    | 11 |
| ■ 地域支援機能 .....       | 15 |
| ■ 開かれた運営 .....       | 16 |
| ■ 人材育成、援助技術の向上 ..... | 17 |
| ■ 経営管理 .....         | 18 |

## 利用者本人調査

|                   |    |
|-------------------|----|
| ■ 利用者本人調査結果 ..... | 19 |
|-------------------|----|

## 家族アンケート結果

|                  |    |
|------------------|----|
| ■ アンケートの概要 ..... | 21 |
| ■ アンケート結果 .....  | 22 |

## 事業者コメント

|                    |    |
|--------------------|----|
| ■ 事業者からのコメント ..... | 27 |
|--------------------|----|

## 評価結果総括

法人名 社会福祉法人 さとり  
事業所名 ナーサリースクール T&Y中央林間  
施設長名 園長 千葉 敏江

### □評価方法

#### 自己評価方法

実施期間 平成 26 年 6 月 17 日～平成 26 年 10 月 16 日

実施方法 職員全員が参加して評価を行い、施設としてまとめた

#### 評価調査員による評価方法

実施日 平成 26 年 11 月 5 日、平成 26 年 11 月 19 日

実施方法 評価調査員 2 名が 2 日間訪問し、施設の見学、資料確認及びヒアリング等で実施した。

#### 利用者家族アンケート実施方法

実施期間 平成 26 年 9 月 5 日～平成 26 年 10 月 5 日

実施方法 施設から利用者家族へ配布し、返送は直接家族より評価機関に郵送してもらった。

#### 利用者本人調査方法

実施日 平成 26 年 11 月 5 日、平成 26 年 11 月 19 日

実施方法 訪問調査時にクラス見学、散歩同行や食事を通じて観察にて行った。



## 総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

### [施設の概要]

ナーサリースクール T & Y 中央林間は、社会福祉法人さとりが経営する保育園として平成 25 年 8 月に開園した保育園です。定員は産休明けから就学前までの子ども 90 名です。

園は小田急江ノ島線・田園都市線中央林間駅から徒歩で 10 数分ほどの住宅街にあります。近隣には公園や高齢者施設などがあり、畠も残っているのどかな環境です。園舎は木造 2 階建ての建物で、どのクラスも木のぬくもりが感じられ、日当たりの良い造りとなっています。

通常の保育のほか、産休明け保育、延長保育、障がい児保育、一時保育、地域子育て支援事業などを実施しています。開所時間は、平日：7:00～20:00、土曜日：7:00～18:00、休園日：国民の休日及び祝祭日、年末年始となっています。

「子ども一人ひとりを大切にし、保護者との一体感を持ち、地域との交流をふかめ、愛される保育園を目指す」を保育理念とし「①挨拶のできる子②みんなと仲良く遊べる子③思いやりのある元気な子」を保育目標に掲げています。

### 《優れている点》

#### 1. 保育目標の実現に向けて、一人一人を大切にする取り組みを実施しています

木のぬくもりが感じられる園舎内の各保育室は広々としています。2階の保育室は、子どもたちが外を見るのにちょうどよい高さに窓が作られて、開放的になっています。

子どもたちは2歳から英語、4歳、5歳は空手を外部講師を招き指導を受けています。2歳児はネイティブの講師と一緒に歌を歌ったり絵本を読んだりすることが大好きです。生活発表会では英語の歌を歌いました。0～2歳児の保育室では低い可動棚やパーテーションなどを活用したコーナー作りを工夫していて、活動内容に応じて子どもたちが落ち着いて、または活発に遊びこめる空間を作っています。合同で活動することの多い3～5歳児は、ホールをかねた広い板の間のスペースで思いきり体を動かしたり、自由遊びを楽しんだりしています。

4～5歳児が合同で廃材を利用しそれぞれが思い思いに好きなものを製作しています。大きな電車や船などを友達と一緒に作ったり、一人で黙々と鉛筆を動かし、切り絵で家を作っている子どももいます。出来上がった作品の車を友達と力を合わせて動かしたり元気いっぱい活動しています。園では子どもたち一人一人の個性、感情、情緒を伸ばせるような活動をしています。

## 2. 保育園運営に外部の専門家の意見を取り入れて保育施設の創造にあたっています

社労士・公認会計士、園外保育士などの外部の専門家の意見を取り入れて組織運営にあたっています。税理士法人所属の社労士からは人事評価考課のフレーム作り、自己チェックリストやJSKカードを用いた自己啓発や能力開発を検討しています。法人が中心となり保育施設に新しい試みを取り入れて、保育環境を創造して整備しています。

一般の独立監査法人による監査報告書ではありませんが、公認会計士による「自主監査報告書」を作成しホームページで財務諸表を公表しています。

### 《改善することが期待される事項》

#### 1. 法人と保育園との連絡体制を見直し、連携を強化した福祉サービスの質の向上

法人事務長の職務分掌に、法人および保育園の事務管理(財務を含む)と職員の統括を明記して、法人全体を調整しています。園長(施設長)には子どもたちへの保育に注力するような配慮となっています。しかし、保育に必要な絵本や、玩具、事務用消耗品などの購入事務も本部との調整が必要となっています。また、人事考課も法人全体で評価する仕組みとなっています。

保護者からも、個別面談などでの話し合う機会や意見要望への対応について不満も寄せられて、法人、保育園が一体となった対応が求められています。保育方針や保育目標を達成するためにも、保育を支える職員、副園長、園長及び事務長の連携内容を見直し改善して、保育の質の向上を目指すことが期待されます。

#### 2. 立地条件や環境を活かした施設

園は駅に比較的近く、保護者は電車を利用することもできて都内に通勤する保護者にも利用しやすい施設となっています。2階の保育室からは遠くに富士山も見え、隣はブドウ畠であり、近くには多くの公園や散歩道に適した環境などがあります。周辺は緑が多く自然環境に恵まれており、園が目的としている「自然に囲まれた保育を実現」を進めています。

一方で保護者からは屋外活動や外遊びへの要望があります。園の前の交通への安全対策も必要ですが、周辺の恵まれている自然環境や、さらに近隣にある小・中・高等学校や高齢者施設を活用することが望れます。これらの環境を活かして外出機会を多くして、園児が様々な自然や異なる年齢の人たちと交流することにより、育児を中心にした福祉拠点になることが期待されます。



## 評価領域ごとの特記事項

### 1. 人権の尊重

- ① 「子ども一人ひとりを大切にし、保護者との一体感を持ち、地域との交流をふかめ、愛される保育園を目指す」を保育理念とし「\*挨拶のできる子\*みんなと仲良く遊べる子\*思いやりのある元気な子」を保育目標に掲げています。どちらも子ども本人を尊重した内容になっています。
- ② 子どもに対する言葉遣いに関しては、職員同士お互いに注意し是正できるように心がけています。また、園長や副園長、主任が出来るだけ現場に入り、気づいた言葉使いについては、その場で注意をしたり職員会議で振り返りを行ったり適切に指導しています。保育士は穏やかな優しい言葉かけをしながら子どもたちを見守っています。子ども同士のトラブルの時には、双方の気持ちを受け止め自分自身で考えるような言葉かけをしながらゆっくりとそれぞれの言い分を聞いています。
- ③ 保育室内には子どものプライバシーを守れる場所や、保育士と子どもが一対一で静かに話せる場所があります。また、各保育室には衝立や家具を使って子どもが落ち着けるコーナーを作っています。
- ④ 守秘義務に関しては職員会議や入職時に説明し、全職員に周知しています。また、ボランティアや実習生に対しては、オリエンテーション時に説明をして確認をとっています。
- ⑤ 個人情報の取り扱いや守秘義務について、入園時に「保育園活動に関わる園児の肖像画等の個人情報提供について」の文書を用いて説明を行い、承諾書を得るなど、保護者の理解を得るために取り組みをしています。
- ⑥ 虐待防止マニュアルの中に、虐待の基本理解、保育園の役割、通報義務について明記しています。また、発見するにはどのような点に注意が必要であるかについてもわかりやすく明記されていて、子どもの様子に変化が見られたときや虐待が疑われるときに活用できるようにしています。特に休み明けの子どもの様子は注意して観察しています。衣服の着脱時には体に傷が無いかなどの視診を重視しています。また、登降園児の保護者と子どもの様子等良く観察しています。

### 2. 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス

- ① 保育課程は保育理念、保育目標を基に、子どもの人権、主体性を尊重した園独自のものを作り上げています。作成にあたっては、まずクラス内で内容を検討した後に未満児会議・以上児会議で再検討し、職員会議において職員全員による話し合いを行っています。内容は、「ねらい」に則したクラスごとの目標が養護、教育、食育に分けてわかりやすく記されており、入園説明会やクラス懇談会を通して保護者に説明されています。
- ② 指導計画に子どもたちの意見や意思を反映させています。特に生活発表会の出し物などは子どもたちの意見も取り入れています。生活発表会では4歳児と5歳児が「てぶくろ」の劇を一人一人が考えて行いました。計画を修正した場合には検討と評価を行い、次の計画に活かしています。
- ③ おもちゃや絵本は子どもたちの手の届くところに収納されています。自由におもちゃや教材を取り出すことができ、主体的に遊べる環境が整えられています。

- ④ 保育課程に基づき、年齢別に指導計画が作成されています。月間指導計画については、月ごとのクラスごとに職員が話し合い他クラスとも連携して立案しています。月ごとに振り返りを行い、問題点があった場合には対処法を検討して実践し、その結果を職員全員で評価して翌月の計画に活かしています。

### 3. サービスマネジメントシステムの確立

- ① 保育理念、保育目標を事務室、保育室等に掲示するとともに毎朝の朝礼において唱和を行い、職員に対する周知と日常保育における具現化に努めています。
- ② 入園時の面接には児童票、生活調査票を提出してもらい、ファイルして指導計画の参考にするなど日々の保育に活用しています。
- ③ 入園説明会において園長、副園長、主任等が保護者に面接し、健康状態、授乳・食事などについて聞き取って個人面接票に記録しています。また、子どもにも一緒に来園してもらい、子どもの様子などを観察しています。
- ④ 年度当初は進級や担任保育士が変わることで在園児も不安になることを考慮し担任はできるだけ一人は持ちあがりにしています。また、園長をはじめ副園長、主任保育士が各クラスに応援に入り子どもとコミュニケーションをとるなど、配慮を行っています。
- ⑤ 子どもの送迎時にその日の子どもの様子を連絡帳や口頭で伝えています。希望による個別面談で個別の意向や要望を汲み取っています。保護者懇談会は年に2回開催しています。保育参観や保育参加も実施し、園の日常を保護者に知らせています。

### 4. 地域との交流・連携

- ① 園庭開放を行い、園外掲示板やポスター・チラシでお知らせしています。育児相談は行っていますが、記録として残してはいません。子育て相談の様式は準備していますが未だ整備が整っていない状況です。地域の子育て支援ニーズに応え、職員間では期末の職員会議で話し合い、一時保育、園庭開放を行っています。子育て応援フェスタには手作り玩具を展示し職員が作り方の説明をしています。
- ② 相談内容に応じて医療・福祉・老人会・学校・企業などの関係機関・団体とは担当者を決めて何時でも連絡が取れる体制は整っています。
- ③ 地域住民に対する働きかけは生活発表会や幼老交流会への招待や、日常の散歩時に公園での交流や老人会やマンション住民との交流、ピアノ、ギター演奏のボランティアの来訪、中高生の職業体験インタビューなどがあります。園児は環境改善関連企業のビオトープを訪問し魚などの様子を観察しています。更には図書館の利用や隣の高齢者施設訪問、警察署による交通安全指導、消防署訪問、スーパーで買い物したりして、地域と交流を図っています。園長は幼保小連絡会で情報交換もしています。
- ④ 地域ボランティアの受け入れは、ボランティア受け入れマニュアルを整備し園長が受け入れ窓口になっています。実習生受け入れマニュアルに従い中学生の職業体験を受け入れています。今年度は大学・専門学校から実習生2名受け入れる予定になっており、次世代の保育士の養成にも寄与しています。

### 5. 運営上の透明性の確保と継続性

- ① 園として守るべき、法、規範、倫理の周知は就業規則に明記しています。法人全体および各園の経営運営に関する情報は公認会計士の「会計専門指導（自主監査）報告書」で財務諸表を市民

に公表しています。法人の他の施設や外部での不適切な事例を職員会議などで確認しています。

- ② 園長は園の運営基本方針、保育方針、保育目標、保育内容、実施保育事業を事業計画に基づき職員会議などで職員に説明し園をリードしています。朝礼や個人面談などを通じて理解を促す説明をしています。運営基本方針などは採用時の説明や年に1回以上振り返り確認しています。
- ③ 園長の職務分担の施設職員の人事管理および園舎・設備・備品などの整備・保守・保安衛生管理が含まれていますが、人事権および金銭財務管理権および理事会への報告などが事務長にあるため動き難い状況になっています。

## 6. 職員の資質向上の促進

- ① 職員の構成が、常勤正規職員、非常勤パート職員、派遣職員となっており、正規職員を中心とした園内研修、園外研修を行っています。現状ではパート職員は研修には参加していません。派遣職員の研修は派遣元で行うために園とは無関係になっています。
- ② 職員各自の研修は自己チェックリストの課題を克服するための研修を中心に受けるなどで能力向上を図っています。保育日誌に自己反省欄、自己評価欄を設け、自己チェックリストとの連動を考慮しています。園長は、自己評価表の公表が行われていませんので将来は公表して全職員が納得するような体制を整えようとしています。
- ③ 遠距離から採用の方には寮を、また福利厚生施設として保養所を備え、職員の働きやすい環境に配慮しています。嘱託医は産業カウンセラーの資格取得を目指しています。現在は、自己評価表の公表が行われておらず全体がどのようにになっているか不明瞭な部分があります。今後は全体を公表する体制にしてモチベーションを向上させるよう検討しています。

## 分類別評価結果 (および理由)

※ ひょう太マークは各項目において下記の水準をあらわしています。また、各項目ごとにひょう太の数の理由のコメントがあります  
3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

### I 利用者本人の尊重

#### I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成



- ① 保育理念、保育目標を事務室、保育室等に掲示するとともに毎朝の朝礼において唱和を行い、職員に対する周知と日常保育における具現化に努めています。
- ② 「子ども一人ひとりを大切にし、保護者との一体感を持ち、地域との交流をふかめ、愛される保育園を目指す」を保育理念とし「\*挨拶のできる子\*みんなと仲良く遊べる子\*思いやりのある元気な子」を保育目標に掲げています。どちらも子ども本人を尊重した内容になっています。
- ③ 保育課程は保育理念、保育目標を基に、子どもの人権、主体性を尊重した園独自のものを作り上げています。作成にあたっては、まずクラス内で内容を検討した後に未満児会議・以上児会議で再検討し、職員会議において職員全員による話し合いを行っています。内容は、年間目標に則したクラスごとの目標が養護、教育、食育に分けてわかりやすく記されており、入園説明会やクラス懇談会を通して保護者に説明されています。
- ④ 保育課程に基づき、年齢別に指導計画が作成されています。月間指導計画については、毎月クラスごとに職員が話し合い他クラスとも連携して立案しています。月ごとに振り返りを行い、問題点があった場合には対処法を検討して実践し、その結果を職員全員で評価して翌月の計画に活かしています。
- ⑤ 指導計画に子どもたちの意見や意思を反映させています。特に生活発表会の出し物などは子どもたちの意見も取り入れています。以前では生活発表会では4歳児と5歳児が「てぶくろ」の劇を一人一人が考えて行いました。計画を修正した場合には検討と評価を行い、次の計画に活かしています。

#### I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- ① 面接時には児童票、生活調査票を提出してもらい、ファイルして指導計画の参考にするなど日々の保育に活用しています。
- ② 園長、副園長、主任等が保護者に面接し、健康状態、授乳・食事などについて聞き取って個人面接票に記録しています。また、子どもにも一緒に来園してもらい、子どもの様子などを観察しています。
- ③ 子どもたちが保育園生活にスムーズに慣れることができるよう面接で把握した内容は職員会議やミーティングを通して全職員に共有され、保育内容に活かされています。
- ④ 短縮保育については「新入園児ならし保育のお知らせ」を保護者に配布し、最低6日間の期間をお願いしています。年齢（0歳児、1歳児、2歳児、3～5歳児）に応じて目安を設けています。園生活への適応に個人差があることや保護者の都合を考慮し、保護者と担任保育士が個別に話し

合って柔軟に対応しています。

- ⑤ 年度当初は進級や担任保育士が変わることで在園児も不安になることを考慮し担任はできるだけ一人は持ちあがりにしています。また、園長をはじめ副園長、主任保育士が各クラスに応援に入り子どもとコミュニケーションをとるなど、配慮を行っています。



### I -3 快適な施設環境の確保

- ① 園舎、園庭とも清掃が行き届き、清潔に保たれています。保育室は、毎日保育士が清掃し、おもちゃも消毒しています。掃除は分担して、掃除チェック表により清掃漏れが無いようにしています。園庭は安全点検も行いながら毎日清掃しています。
- ② 定期的に窓を開けて通風、換気をするとともに空気清浄加湿器できれいな空気を保っています。各保育室の窓は大きく、採光は良好です。各保育室には温湿度計が用意され、毎日チェックし日誌に記載しています。
- ③ 保育士は常に穏やかに子どもに声掛けをしており、音楽をかけるときにも適切な音量になるよう注意しています。0~2歳児の保育室がある1階には、温水が出るシャワーと沐浴設備があります。午睡と食事のコーナーは分けています。



### I -4 一人一人の子どもに個別に対応する努力

- ① 0~2歳児は月間個別計画を作成して保育を行っています。毎月クラス担任が中心となり、翌月のねらいと配慮を検討し計画を作成しています。
- ② 個別の目標、計画は、家庭とも密に連携しながら、子どもとかかわる複数の職員間で話し合い、子ども個々の発達、状況に応じて柔軟に変更、見直しを行っています。
- ③ 3歳児以上で特別な課題のある子どもについては、子どもの状況、情報を職員間で共有しながら対応方法を話し合い、保育を行っています
- ④ 入園時に把握した子どもの家庭の状況や既往症、アレルギーの有無、食事の状況などについては「児童票」、「生活調査票」に記録しファイリングされ、保育士はいつでも必要な情報を得られるようになっています。
- ⑤ 個別の目標は子どもの発達に合わせて随時見直しを行っています。特に個人差のある離乳食やトイレトレーニングなどについては連絡帳などを通して保護者と密に連携をとり、相談しながら保育を進めています。



### I -5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み

- ① 特に配慮が必要な子どもについては、職員間で子どもの特性を理解し、情報共有しながら子どもがスムーズに園生活を送れるように配慮しています。
- ② 虐待防止マニュアルの中に、虐待の基本理解、保育園の役割、通報義務について明記しています。また、発見するにはどのような点に注意が必要であるかについてもわかりやすく明記されていて、子どもの様子に変化が見られたときや虐待が疑われるときに活用できるようにしています。特に休み明けの子どもの様子には注意して観察しています。衣服の着脱時には体に傷が無いかなどの視診を重視しています。また、登降園児の保護者と子どもの様子等良く観察しています。

- ③ 障害のある子どもの受け入れにあたっては、職員間で子どもについての状況、情報を共有し、保護者と連携しながら対応します。また、保護者の同意を得たうえで、市の保健福祉センターや地域の療育センターなどの関係機関と連携をとれる体制にあります。
- ④ 職員が障害などの外部研修などに参加したときには研修報告書や資料を回覧しファイリングするなど、情報の共有化にも努めています。園内研修も実施しています。
- ⑤ アレルギー疾患のある子どもについては、入園時の面談は園長、主任保育士が行い、対応について説明をしてかかりつけ医の指示のもと、除去食を提供しています。アレルギーのある子どもは毎月個別の献立を作成して保護者と連携しています。提供時には、名札の付いた別のトレイを使用し、食器の柄を変えて誤食がないよう注意しています。
- ⑥ 外国籍の子どもについては、保護者と話し合いながら、生活習慣の違いや考え方の違いを受け入れるようにしています。宗教的な理由で弁当持参の子どももいます。

#### I -6 苦情解決体制



- ① 「ナーサリースクールT&Y中央林間 ほいくのしおり」に「園の保育全般に関するご意見・ご要望等について」としてわかりやすく説明しています。苦情受付担当者は副園長、解決責任者は園長が努めています。また、第三者委員や他機関にも相談できる体制を整えています。第三者委員や運営適正委員会の連絡先も明記しています。入園説明会で、苦情解決体制について保護者に説明しています。
- ② 意見箱を設け、行事の時にはアンケートを実施し要望や意見を把握するよう努めています。自分から意見を表明することが困難な保護者には登降園時には出来るだけこちらから声をかけ、話しやすい雰囲気作りを行い、育児などの悩みを受けとめるように配慮しています。
- ③ 保護者からの要望や苦情の解決策は職員間で話し合い、周知しています。また、過去の苦情要望については、「要望苦情等受付簿」に記録を蓄積し、その後のサービス向上に役立てています。

## II サービスの実施内容

### II-1 保育内容【遊び】



- ① 散歩は日常的に行われ、電車を見に行ったり公園等にも訪れています。地域の方とは元気に挨拶をしています。近隣の企業とも交流があり芝生の庭で遊ぶこともあります。散歩に限らず園庭での遊びは毎日のように行われ自由に遊具などが使えるように配慮されています。
- ② 絵本やおもちゃは子どもが取り出しやすい位置に収納しています。自由遊びの時間には3~5歳児では発達に応じて用意されたおもちゃを、子どもが保育士に声をかけて自由に取り出しています。子ども自身が片付けやすいように収納には玩具の写真を貼っています。
- ③ コーナー遊びをするときには、ぬり絵やパズル、おままごとや粘土遊びなどは、子どもの人数や状況に応じて臨機応変に作るなど工夫しています。自由時間にはごっこ遊びが人気で、子どもの自由な発想でお店屋さんごっこをしたり人気のアニメの登場人物になりきったり、好きな曲でダンスして楽しく遊んでいます。
- ④ 年齢に応じてルールを学びながらの集団活動を取り入れ、子どもたちの様子や要望を汲み取りながら活動を発展させたり、自由遊びに切り替えたりしています。2歳児くらいからしっぽ取りゲームやいす取りゲームなどルールのある遊びを取り入れています。保育士は子ども一人一人の様子を見ながら、子どもが興味や好奇心を持って楽しく活動できるように支援しています。
- ⑤ 「年間食育活動計画」に沿って各年齢ごとに活動しています。子どもと相談して決めた野菜をプランターで育てています。今年は春から夏にかけてトマト、オクラ、ピーマンなどを栽培し大収穫でした。3、4、5歳児が中心となって世話をし、成長観察画を描き、収穫し、調理をしてもらいました。
- ⑥ 園は小規模園のため、子どもたちは異年齢でもお互いのことを知っているアットホームな環境です。(3歳)未満児と以上児が一緒に散歩に行ったり、日頃から異年齢での活動も多く、日常的に大きな子どもが小さな子どもを思いやり、小さな子どもは大きな子どもをお手本にして成長できるような配慮がされています。
- ⑦ 園の理念に基づき、健康な心と体を育てるための取り組みにも力を入れていて、積極的に散歩や屋外活動を取り入れています。4歳児、5歳児は、専門講師による空手指導を実施しています。

### II-1 保育内容【生活】



- ① 保育士は一緒に食事をしながら子どもたちと楽しく会話をしています。保育士は子ども一人一人の体調や普段からの食事量を把握して個々の食べられる量などを調整し、食べられたという達成感を大切にしています。
- ② 0~2歳児では一人一人の成長、発達に応じて家庭と相談しながら、授乳や離乳食は子どものリズムに合わせてすすめています。授乳時には抱っこをして声をかけながら与えています。
- ③ 年間食育計画を立てています。子どもたちはトマトやオクラの育ちの観察、収穫、そして収穫したものを味わうなど、好奇心いっぱいで楽しく体験しています。日頃から旬の食材の紹介を行い、キャベツをむしったり、トウモロコシの皮をむいたり、子どもたちは簡単なお手伝いにも挑戦しています。クッキング保育では餃子ピザ、月見団子やお握りなどを作って美味しいいただきました。

- ④ 栄養士は旬の素材を取り入れ、季節感のあるメニューを取り入れるように工夫しています。子ども達の食欲がわくような色合いの盛り付け、素材の切り方、口の中に入れた時の食感に配慮しています。毎月のお誕生会では、手作りのカードとケーキが子どもたちに人気です。
- ⑤ 食器は安全な強化磁気製で、子どもの成長、発達に合わせた食器を使用し、常に破損や日々などについての安全性は確認しています。3月にリクエストメニューの日を作り、園で好きだったメニューを提供して喜ばれています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理【健康管理】



- ① 午睡、休息は、子どもの発達や日々の様子に応じて対応しています。午睡の時間には窓辺のスクリーンを降ろして明るさ調整をしています。午睡前に保育士が絵本の読み聞かせをしたり静かな音楽を流したりして、子どもたちが心地よく眠れるように配慮しています。眠れない子どもには、静かに横になって体を休めるように促します。
- ② 朝の登園時の健康チェック、園での検温、手洗い、うがい、食後の歯みがきの実施（以上児）などをしています。内科検診、歯科検診は年2回実施していて、それぞれ記録して児童票ファイル内で子どもごとに保管しています。それぞれの結果は降園時に、「内科検診の結果」「歯科検診の結果」の書面を配付してお知らせしています。健診結果に基づいて、必要があれば園の嘱託医やかかりつけ医とも連携して、保育にあたっています。一人の健康状態を把握しながら、健康管理を行っています。
- ③ 各家庭に配付済みの「ほいくのしおり」に掲載されている登園停止基準のほか、市役所からの感染症に関するポスターなども掲示しています。また、地域で発生している感染症情報をお知らせして注意喚起を行っています。
- ④ 保育中に発症や疑い事例が生じた場合、保護者へ速やかに連絡してお迎えをお願いし、保護者がすぐに来られないときは子どもの状態に応じて事務室でカーテンをして簡易ベッドで安静を保てるようにするなど、配慮しています。園内で感染症が発生した場合、最新情報を隨時掲示し保護者へ速やかに周知しています。
- ⑤ 歯磨きは、3歳児から実施しています。3歳児は保育士がきちんと仕上げ磨きをしています。クラスだよりも年齢に応じて着る洋服の調整や手洗いの仕方やうがい、歯磨きなど衛生面での呼びかけも行っています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理【衛生管理】



- ① 「保健衛生マニュアル」が整備されています。各種消毒薬の扱い方、園内の消毒方法、下痢嘔吐物の処理方法など、マニュアルに基づいて実施しています。
- ② 園内清掃は当番制で職員が行い、園内の清潔が保たれています。玩具類も丁寧に消毒が行われ清潔に保たれています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理【安全管理】



- ① 事故や怪我が発生した場合は「危機管理マニュアル」に基づき対応していく、保護者に速やかに連絡できるように「緊急連絡先名簿」を作成するなど体制を整えています。事故や怪我が発生した場合「事故報告書」を作成し、職員会議にて全職員へ周知し、検証を行い、改善策を講じています。

- ② 不審者の侵入に対する対応策として、[不審者対応マニュアル]を作成し、不審者対策として不審者侵入時の合言葉を決め訓練を実施しています。園内に防犯カメラを設置していて、事務室で人の出入りをチェックするとともに24時間録画を行っています。不審者対策では、玄関はオートロック式にしてあり、来訪者のチェックを行ってから解錠しています。警察には事務室から通報する仕組みになっています。
- ③ 安全管理に関するマニュアルを整え、緊急連絡体制を確立しています。転倒防止など災害を想定した具体例を話し合うなど研修を実施しています。また、連絡体制の演習や避難訓練も実施しています。

## II-3 人権の尊重



- ① 子どもに対する言葉使いに関しては職員同士お互いに注意し是正できるように心がけています。園では日ごろから子ども一人一人を大切にすることを心がけて保育を行っています。子どものことは呼び捨てにせず、「～ちゃん」と呼んでいます。職員は保育中、子どもをせかしたり強制する言葉を使用せず、子どもの気持ちや発言を汲むよう心がけて保育にあたっています。
- ② 子どもが一人で、ほかの子どもの視線を意識することなく過ごしたいときに事務所で対応することもあります。保育室にはパーテーションやロールカーテン、ロッカー等を活用してほかの子どもの視線を気にせずのんびり、ほっとできる空間が工夫されています。性差については保育中の並び方、グループ分けなどの際に区別することはしていません。
- ③ 個人情報の取り扱いや守秘義務について、入園時に「保育園活動に関わる園児の肖像画等の個人情報提供について」の文書を用いて説明を行い、承諾書を得るなど、保護者の理解を得るために取り組みをしています。守秘義務に関しては職員会議や入職時に説明し、全職員に周知しています。また、ボランティアや実習生に対しては、オリエンテーション時に説明をして確認をとっています。

## II-4 保護者との交流・連携



- ① 「ほいくのしおり」に保育目標を明記し、クラス懇談会で保護者に詳しく説明し伝えています。運動会や発表会などの行事の後に園独自のアンケートを行い、保護者の意向や要望を把握しサービスの質の向上に繋げようとしています。日常保育の中で連絡帳や園だより、クラスだよりなどで保育方針が理解されるよう努力しています。
- ② 子どもの送迎時にその日の子どもの様子を連絡帳や口頭で伝えています。希望者による個別面談で個別の意向や要望を汲み取っています。保護者懇談会は年に2回開催しています。保育参観や保育参加も実施し園の日常を保護者に知らせています。
- ③ 保護者の相談には、プライバシーを確保するために個室で行い、カウンセリング技術を習得向上させるため副園長がカウンセリング講座の研修を受講しています。相談内容は個人面談記録に記録し、関係者で対応策を検討し保護者に報告する仕組みになっています。
- ④ 「園だより」を毎月発行し、クラス別に掲示板を設けその日の保育の様子(行事や日々の写真)を伝えています。個人情報の提供については、運営指針に則り「保育園活動に関わる園児の肖像権等の個人情報提供について」を入園時に保護者に配り園児の写真などの掲載の承諾を貰っています。
- ⑤ 年間の行事予定は、年度初めに行事予定表を全世帯に配り保護者が参加しやすいような配慮をしています。保育参加や保育参観をして保護者を積極的に受け入れています。保育参観や懇談会に

不参加の方には、口頭または記録文書でお知らせしています。年間の食育活動計画や年間食育カリキュラム、給食予定表、または離乳食予定献立表も配布して食育の大切さを保護者に伝えています。保護者の自主的な活動への援助は場所などの制約から現在時点では実施されておりません。

### III 地域支援機能

#### III-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供



- ① 地域住民との交流の中で、施設に対する要望を把握するために園庭開放を行い、園外掲示板やポスターなどお知らせしています。育児相談はしていますが記録に残していません。子育て相談の様式は準備していますが実績は未だありません。子育て支援は部屋が用意できず行なわれていません。園長は、園長会や幼保小連絡会に参加して情報交換をしています。近隣の小学校とはグランドを借りて運動会をしています。中学校からは、職業体験の生徒を受け入れ体験学習に協力しています。
- ② 地域の子育て支援ニーズに応え職員間では期末の職員会議で話し合い、一時保育、園庭開放をしています。子育て応援フェスタには手作り玩具を展示し職員が作り方の説明をしています。

#### III-2 保育園の専門性を活かした相談機能



- ① 保育園からの園庭開放などのお知らせは園外掲示板を使って地域住民にお知らせしていますが、育児相談には部屋が準備できないので断念しています。
- ② 相談内容に応じて医療・福祉・老人会・学校・企業などの関係機関・団体とは担当者を決めて何時でも連絡が取れる体制は整っています。

## IV 開かれた運営

### IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ



- ① 地域住民に対するはたらきかけは生活発表会や幼老交流会に招待し、日常の散歩時に公園での交流や老人会との交流、ピアノ、ギター演奏のボランティアの来訪、中学生の職業体験、高校生の職業に対するインタビューなどがあります。園児は近隣企業の自然環境園に遊びに行って、魚や樹木などを観察しています。
- ② 園児は隣の高齢者施設を訪問して世代間交流をし、神奈川県社協による交通安全指導を受けています。消防署訪問やスーパーで買い物したりして、地域と交流を図っています。園長は幼保小連絡会で情報交換もしています。

### IV-2 サービス内容等に関する情報提供



- ① 将來の利用者に関心のある事項について、法人のパンフレットや広報誌を市の関係先に置いて市民に広報をしています。法人のホームページは市の広報とリンクしています。ホームページには法人の定款、役員名簿、役員報酬規程、や26年度事業計画、25年度の外部監査報告、事業報告、財務諸表など掲載し透明性を高めています。
- ② 利用希望者の問い合わせや見学には、園長または主任が窓口で対応しています。市からの紹介で見学相談は午前中を基本としていますが、状況によっては相手の都合に合わせることも可能です。

### IV-3 ボランティア・実習の受け入れ



- ① 地域ボランティアの受け入れは、ボランティア受け入れマニュアルを整備し園長が受け入れ窓口になっています。保育参加の感想文を取るような計画もしています。
- ② 実習生受け入れマニュアルに従い中学生の職業体験を受け入れています。今年度は大学・専門学校から実習生2名受け入れる予定になっており、次世代の保育士の養成にも寄与しています。

## V 人材育成・援助技術の向上

### V-1 職員の人材育成



- ① 職員の構成が、常勤正規職員、非常勤パート職員、派遣職員となっております。正規職員を中心とした園内研修、園外研修を行っています。現状ではパート職員は開催する時間の関係で研修には参加していません。派遣職員の研修は、派遣元で行うために園からは実施していません。
- ② 職員は年度ごとに資質向上に向けた目標を掲げ自己チェックリストで採点し、事務長との個人面談で確認しています。また、現在の課題、今後の努力点を決めています。自己評価はJSK（ジェイエスケー法人）カードを用いて園長を経由せずに事務長、社労士、園外保育士、役員が採点し報酬と結びついています。
- ③ 園外研修に参加した職員は報告書にまとめ職員会議などで報告し全員で研修内容を共有できる仕組みになっています。園内研修は職員会議・臨時会議や以上児会議、未満児会議などの研修体制を整えています。研修参加者が研修報告をすることにしていますがパート職員は勤務時間帯の関係で会議に参加するのが困難な状況にあります。研修報告は回覧して、その後は事務所に配置して何時でも見られる状況にしてあります。

### V-2 職員の技術の向上



- ① 法人に園長会、主任会があり情報交換をしています。職員各自の研修は自己チェックリストの課題を克服するための研修を中心に受けるなどで能力向上を図っています。
- ② 保育日誌に自己反省欄、自己評価欄を設け、自己チェックリストとの連動を考慮しています。園長は、自己評価表の公表が行われていませんので将来は公表して職員が納得するような体制を整えようとしています。

### V-3 職員のモチベーションの維持



- ① 職務分担表や早番、遅番の仕事、園長、副園長、主任保育士、保育士、事務長、委託調理員、嘱託医師など、職員一人一人それぞれの役割が明確になっています。園長は、年に2回職員と個人面談を行って目標や反省点を確認し合うほかに、コミュニケーションの大切さを強調しています。
- ② 法人として遠距離からの方には寮を、また福利厚生施設として保養所を備え、職員の働きやすい環境に配慮しています。嘱託医は産業カウンセラーの資格取得を目指しています。現在は、自己評価表の公表が行われていませんので全体がどのようになっているかわからないため、事務長は全体を公表する体制にしてモチベーションを向上させようとしています。

## VI 経営管理

### VI-1 経営における社会的責任



- ① 園として守るべき、法、規範、倫理の周知は就業規則に明記しております。法人全体および各園の経営運営に関する情報は公認会計士の「会計専門指導（自主監査）報告書」で財務諸表を市民に公表しています。法人の他施設や外部での不適切な事例を職員会議などで確認しています。園長は各種マニュアル、ガイドラインのハンドブックを作り全職員で読み合わせしようとしています。
- ② 節電に努め、牛乳パックや段ボール、プリンの容器などの再利用を図りごみの減量化に努めています。プランターを使い野菜を栽培して緑化に取り組んでいます、夏場はヨシズで直射日光を遮り温度を下げて空調の節電を図っています。環境への考え方取組みの明文化は今後の課題となっています。

### VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



- ① 園長は園の運営基本方針、保育方針、保育目標、保育内容、実施保育事業を事業計画に基づき職員会議などで職員に説明し園をリードしています。朝礼や個人面談などを通じて理解を促す説明をしています。運営基本方針などは採用時の説明や年に1回以上振り返り確認しています。
- ② 園長は個人面談や行事後のアンケートおよび第三者評価機関による保護者アンケートから保護者の意見や要望を汲み取り、また、職員からは職員会議や個人面談などで意見を聴いています。事務長は保護者からの園に対する苦情・要望は宝の山であるとの考えに徹しています。
- ③ 施設長、主任保育士、乳児担当保育士、幼児担当保育士と言った階層別に研修計画を立てて実行しています。法人からの課題は「園の運営方針の理解と実践」「職員の危機管理対応能力の向上」「各担当の職務に合わせた自己評価と資質向上」を目指して研修を受けるように指示しています。

### VI-3 効率的な運営



- ① 法人の事務部門および理事が中心に外部事業環境変化に関する情報を把握し、社労士など外部の専門家の意見を取り入れて理事会に諮り決定しています。中長期計画や新園開設を準備中です。理事会での決定事項は園長会や主任会で説明しています。事務長より中長期計画、事業計画は職員に伝達されています。
- ② 法人および施設の事務管理（財務を含む）の統括、事務員および雇用員の統括が事務長の職務分担になっています。園長の職務分担の施設職員の人事管理および園舎・設備・備品などの整備・保守・保安衛生管理が含まれていますが、人事権および金銭財務管理権および理事会への報告などが事務長にあるため、すぐに動き難い状況になっています。

## ■ 利用者本人調査

### □ 調査対象

#### 園全体の在籍数:

|             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 0歳児クラス: 6名  | 1歳児クラス: 12名 | 2歳児クラス: 18名 |
| 3歳児クラス: 18名 | 4歳児クラス: 16名 | 5歳児クラス: 6名  |

### □ 調査概要

#### 《0歳児クラス》

午睡の様子を観察しました、パーテーションで区切られた場所に、保育士に背中をさすって貰いながら眠りに付こうとしている子、既に眠りに入り安らかに寝ている子、まだ遊び足りないのか保育士と手遊びのようなことをしている子、保育士に抱かれて哺乳瓶からミルクを飲んでいる子など個々にあわせて保育士が対応をしています。

#### 《1歳児クラス》

食事の時間を観察しました。食べ物に関心を示し自分でスープーンを持って食事を口に運んでいます。中には脇見をしていたり友達と遊んでいる子も見受けられます。また、食べ物が口に入らずにこぼしたりしている子もいますが保育士に手伝って貰いながら廻りを清潔にしながら食事を自分でしようと頑張っています。

#### 《2歳児クラス》

外遊び散歩に同行しました。園内で保育士から散歩に対する注意事項を言い渡され、人数を確認した後に二人が一組になって手をつなぎ遊歩道を歩いて近くのほうえん様公園に行き、そこで園児は各自思い思いの遊びをしています。プリンのカップを使っての遊びや、蟻やダンゴ虫などの昆虫の動きを観察したり、散歩を楽しんでいるお年寄りと挨拶を交わしたり会話をしています。暫し遊んだあとで保育士からの説明や注意事項を聴いて人数を確認した後に帰園しました。

#### 《3歳児クラス》

外遊びから園に帰って手洗いの様子を観察しました。それぞれ手洗い場2か所に並び順番に手を洗っています。保育士はその様子を見ながら「指の間もキュッキュッ、手首の周りもキュッキュッ」と歌を歌うように子どもたちに洗い方を指導しています。子どもの袖がぬれそうだと「ちょっと袖をまくらないと濡れてしまうよ」といいながら優しく袖をまくっていました。子どもと保育士の穏やかにやり取りのうちに皆、手洗いを済ませていました。

## 《4歳児クラス》

5歳児と散歩に出かけました。目的地は歩いて10分程の公園です。途中自転車が多い道路を横切ったり大規模な幼稚園の近くを歩いたりします。その都度、保育士が「後ろから自転車が来ます。端によってください。」と子どもたちに声をかけています。幼稚園の前を通るときには、子どもたちが、大型遊具を見て「楽しそう、やってみたい」と口ぐちに話すと「本当に楽しそうだね。やってみたいね」と答えていました。公園では「今日は他の保育園のお友達がいます。小さい子には注意をして仲良く遊びましょう」と話しかけていました。

## 《5歳児クラス》

午睡後の自由製作の時間を観察しました。大きな箱に入った様々な廃材やボンド・折り紙・色画用紙などを使用しながら思い思いに好きなものを作っていました。鉄を自由に使い「切り絵」を作つては、作りかけのおうちに貼っていたり、友達と力を合わせて電車を作り長くつないでいたり、剣を作つていたり子どもたちは思念に楽しそうに作っていました。保育士は鉄の使い方を教えたり、「このカップを使うと面白い形になるよ」とアドバイスをしたりしていました。

## 家族アンケート結果

### アンケートの概要

#### 1. 調査対象

利用者の全家族

#### 2. 調査方法

アンケートは評価機関で準備をして保育園から配布してもらいました。回答は家族から郵送にて直接に評価機関に送っていただきました。

#### 3. アンケート発送数等

|       |       |       |       |       |       |     |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 発送数 : | 66 通  | 返送数 : | 40 通  | 回収率 : | 61%   |     |
| クラス : | 0歳児 : | 4 通   | 1歳児 : | 9 通   | 2歳児 : | 7 通 |
|       | 3歳児 : | 10 通  | 4歳児 : | 7 通   | 5歳児 : | 2 通 |

#### 4. 全体をとおして

保育園を総合的に評価する総合満足度は「満足」32.5%、「どちらかといえば満足」35.0%であり、合計して回答者の67.5%が満足しています。

個別項目では、「給食の献立内容について」は「満足」60.0%であり、続いて「お子さんが給食を楽しんでいるかについて」52.5%、「基本的生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについて」50.0%と「満足」が高い状況です。

その一方で「不満」の多い項目は「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについて」「子どもが戸外遊びを十分にしているかについて」「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会について」「意見や要望への対応について」の項目であり、それぞれ22.5%が「不満」と答えています。

自由記入欄での意見では、利用者家族からの感謝や満足を根ベル意見の他に、「屋外活動を増やしてほしい」「園と家族との話し合う機会を望む」要望があります。

「あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか」の質問では、「良く知っている」〔まあ知っている〕の合計は55.0%であり、「あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか」に対して100%の賛同（「賛同できる」「まあ賛同できる」の合計）となっています。保育目標・方針などの周知を工夫することにより、アンケートの回収率が上がり、保護者と保育園への協力により満足度も向上することが期待できます。

## アンケート結果

### ■保育園の基本理念や基本方針について

#### 問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか

|           |             |            |
|-----------|-------------|------------|
| 1 よく知っている | 3 どちらともいえない | 4 あまり知らない  |
| 2 まあ知っている |             | 5 まったく知らない |



| 1    | 2     | 3     | 4     | 5    | 無回答  |
|------|-------|-------|-------|------|------|
| 5.0% | 50.0% | 17.5% | 22.5% | 5.0% | 0.0% |

付問1 【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方】

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

|           |             |             |
|-----------|-------------|-------------|
| 1 賛同できる   | 3 どちらともいえない | 4 あまり賛同できない |
| 2 まあ賛同できる |             | 5 賛同できない    |

| 1     | 2     | 3    | 4    | 5    | 無回答  |
|-------|-------|------|------|------|------|
| 63.6% | 36.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

### ■保育園のサービス内容について

#### 問2 お子さんが入園する時の状況について

|                                       | 満足    | どちらかといえれば満足 | どちらかといえれば不満 | 不満    | その他   | 無回答  |
|---------------------------------------|-------|-------------|-------------|-------|-------|------|
| 見学の受け入れについては                          | 25.0% | 25.0%       | 5.0%        | 0.0%  | 42.5% | 2.5% |
| その他:新設のため見学していない、見学していない              |       |             |             |       |       |      |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については             | 20.0% | 40.0%       | 15.0%       | 17.5% | 7.5%  | 0.0% |
| その他:よく覚えていない                          |       |             |             |       |       |      |
| 園の目標や方針についての説明には                      | 20.0% | 42.5%       | 25.0%       | 5.0%  | 7.5%  | 0.0% |
| その他:よく覚えていない、満足でも不満足でもない              |       |             |             |       |       |      |
| お子さんの生育歴などを聞く対応には                     | 20.0% | 42.5%       | 25.0%       | 5.0%  | 7.5%  | 0.0% |
| その他:                                  |       |             |             |       |       |      |
| 保育園での一日の過ごし方についての説明は                  | 30.0% | 42.5%       | 17.5%       | 7.5%  | 2.5%  | 0.0% |
| その他:                                  |       |             |             |       |       |      |
| 入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については | 17.5% | 40.0%       | 22.5%       | 15.0% | 5.0%  | 0.0% |
| その他:よく覚えていない                          |       |             |             |       |       |      |

問3 保育園に関する年間の計画について

|                                | 満足    | どちらかといえど満足 | どちらかといえど不満 | 不満    | その他  | 無回答  |
|--------------------------------|-------|------------|------------|-------|------|------|
| 年間の保育や行事についての説明には              | 25.0% | 45.0%      | 22.5%      | 5.0%  | 0.0% | 2.5% |
| その他:                           |       |            |            |       |      |      |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 17.5% | 30.0%      | 22.5%      | 22.5% | 5.0% | 2.5% |
| その他:                           |       |            |            |       |      |      |

問4 日常の保育内容について

| 「遊び」について   | 満足    | どちらかといえど満足 | どちらかといえど不満 | 不満    | その他  | 無回答  |
|--|-------|------------|------------|-------|------|------|
| クラスの活動や遊びについては<br>(お子さんが満足しているかなど)                   | 40.0% | 37.5%      | 5.0%       | 15.0% | 2.5% | 0.0% |
| その他:   |       |            |            |       |      |      |
| 子どもが戸外遊びを十分しているかについては                                | 35.0% | 25.0%      | 12.5%      | 22.5% | 5.0% | 0.0% |
| その他:   |       |            |            |       |      |      |
| 園のおもちゃや教材については<br>(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど) | 42.5% | 37.5%      | 12.5%      | 2.5%  | 5.0% | 0.0% |
| その他:園のなかにどのようなものがあるかわからない                            |       |            |            |       |      |      |
| 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については                           | 37.5% | 25.0%      | 17.5%      | 15.0% | 5.0% | 0.0% |
| その他:   |       |            |            |       |      |      |
| 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては                     | 35.0% | 42.5%      | 10.0%      | 10.0% | 2.5% | 0.0% |
| その他:よくわからない  |       |            |            |       |      |      |
| 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては                          | 27.5% | 47.5%      | 7.5%       | 10.0% | 7.5% | 0.0% |
| その他:よくわからない、取り組んでいるのかどうかわからない                        |       |            |            |       |      |      |

| 「生活」について                                  | 満足    | どちらかといえど満足 | どちらかといえど不満 | 不満   | その他   | 無回答  |
|---|-------|------------|------------|------|-------|------|
| 給食の献立内容については                              | 60.0% | 35.0%      | 0.0%       | 2.5% | 2.5%  | 0.0% |
| その他:                                      |       |            |            |      |       |      |
| お子さんが給食を楽しんでいるかについては                      | 52.5% | 42.5%      | 2.5%       | 0.0% | 2.5%  | 0.0% |
| その他:                                      |       |            |            |      |       |      |
| 基本的生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては     | 50.0% | 37.5%      | 2.5%       | 2.5% | 7.5%  | 0.0% |
| その他:まだ時期ではないのでどのように取り組んでいるかわからない          |       |            |            |      |       |      |
| 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては          | 40.0% | 40.0%      | 10.0%      | 2.5% | 7.5%  | 0.0% |
| その他:よくわからない                               |       |            |            |      |       |      |
| おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては | 37.5% | 37.5%      | 10.0%      | 0.0% | 15.0% | 0.0% |
| その他:まだ時期ではない、まだなのでわからない                   |       |            |            |      |       |      |
| お子さんの体調への気配りについては                         | 42.5% | 45.0%      | 12.5%      | 0.0% | 0.0%  | 0.0% |
| その他:                                      |       |            |            |      |       |      |
| 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には             | 40.0% | 40.0%      | 10.0%      | 7.5% | 2.5%  | 0.0% |
| その他:                                      |       |            |            |      |       |      |

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

|                               | 満足    | どちらかといえど満足 | どちらかといえど不満 | 不満    | その他  | 無回答  |
|-------------------------------|-------|------------|------------|-------|------|------|
| 施設設備については                     | 35.0% | 35.0%      | 12.5%      | 10.0% | 7.5% | 0.0% |
| その他:                          |       |            |            |       |      |      |
| お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては | 35.0% | 45.0%      | 12.5%      | 2.5%  | 2.5% | 2.5% |
| その他:                          |       |            |            |       |      |      |
| 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については          | 42.5% | 37.5%      | 15.0%      | 2.5%  | 2.5% | 0.0% |
| その他:                          |       |            |            |       |      |      |
| 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については     | 45.0% | 42.5%      | 7.5%       | 2.5%  | 2.5% | 0.0% |
| その他:                          |       |            |            |       |      |      |

問6 園と保護者との連携・交流について

|   | 満足    | どちらかといえど満足 | どちらかといえど不満 | 不満    | その他   | 無回答  |
|---|-------|------------|------------|-------|-------|------|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については              | 15.0% | 20.0%      | 32.5%      | 22.5% | 10.0% | 0.0% |
| その他:                                      |       |            |            |       |       |      |
| 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については         | 40.0% | 32.5%      | 17.5%      | 7.5%  | 2.5%  | 0.0% |
| その他:                                      |       |            |            |       |       |      |
| 園の行事の開催日や時間帯への配慮については                     | 35.0% | 37.5%      | 12.5%      | 12.5% | 0.0%  | 2.5% |
| その他:                                      |       |            |            |       |       |      |
| 送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については               | 32.5% | 22.5%      | 32.5%      | 10.0% | 2.5%  | 0.0% |
| その他:                                      |       |            |            |       |       |      |
| お子さんに関する重要な情報の連絡体制については                   | 37.5% | 35.0%      | 15.0%      | 7.5%  | 2.5%  | 2.5% |
| その他:                                      |       |            |            |       |       |      |
| 保護者からの相談事への対応には                           | 35.0% | 27.5%      | 17.5%      | 15.0% | 5.0%  | 0.0% |
| その他:相談したことがない                             |       |            |            |       |       |      |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には | 35.0% | 15.0%      | 20.0%      | 15.0% | 12.5% | 2.5% |
| その他:時間に遅れることがない                           |       |            |            |       |       |      |

問7 職員の対応について

|                                 | 満足    | どちらかといえど満足 | どちらかといえど不満 | 不満    | その他   | 無回答  |
|---------------------------------|-------|------------|------------|-------|-------|------|
| あなたのお子さんが大切にされているかについては         | 37.5% | 42.5%      | 17.5%      | 0.0%  | 0.0%  | 2.5% |
| その他:                            |       |            |            |       |       |      |
| あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては     | 42.5% | 40.0%      | 7.5%       | 5.0%  | 5.0%  | 0.0% |
| その他:                            |       |            |            |       |       |      |
| アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 37.5% | 32.5%      | 5.0%       | 2.5%  | 17.5% | 5.0% |
| その他:わからない、知らない、対応方法を知らない        |       |            |            |       |       |      |
| 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては         | 40.0% | 32.5%      | 10.0%      | 7.5%  | 5.0%  | 5.0% |
| その他:                            |       |            |            |       |       |      |
| 意見や要望への対応については                  | 30.0% | 25.0%      | 17.5%      | 22.5% | 5.0%  | 0.0% |
| その他:                            |       |            |            |       |       |      |

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足しているか

|        | 満足    | どちらかといえど満足 | どちらかといえど不満 | 不満    | 無回答  |
|--------|-------|------------|------------|-------|------|
| 総合満足度は | 32.5% | 35.0%      | 22.5%      | 10.0% | 0.0% |

## 事業者コメント

記入日：平成27年2月9日

事業者名：ナーサリースクールT&Y 中央林間

今回の審査を受けるにあたり、開所後1年3ヶ月の園ではありますが、早い段階で、園全体を見直す事ができ、指摘事項については職員全体で見直し、また、評価いただいた事については、今後も継続して行きたいと考えています。

特に、子どもの人権に関する事については、職員間での話し合いをする場を別時間にもつなど確認をし合える事ができ、今後も継続していきたいと考えています。

また、職員の考え方など個々に違いはありましたが、多くの目で見ることによって真実が見えたり、共通の理解ができ職員同士の意志疎通をはかる機会にもなりました。日常の保育現場での共通理解をしていくうえでの方法や手段を学び、より一層良い保育ができるよう、保護者の方々の意見や調査員の方の指摘を受け入れ取り組んでいきたく思います。

**株式会社 フィールズ**

---

〒251-0024 神奈川県藤沢市鵠沼橋 1-2-7 湘南リハウスビル 4 階  
TEL／0466-29-9430 FAX／0466-29-2323





# 【ナーサリースクール T&Y 中央林間】

## 福祉サービス第三者評価 <参考資料>

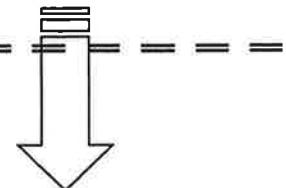
---

- ◆ 分類別評価結果の一覧
- ◆ 評価結果比較
- ◆ 家族アンケート自由記述・集計表
- ◆ 家族アンケート集計結果分析

## 分 類別評価結果の一覧

| I. 子ども本人の尊重     | 6 |   |  |  |  |  |
|-----------------|---|---|--|--|--|--|
| II. サービスの実施内容   | 7 |   |  |  |  |  |
| III. 地域支援機能     | 2 |   |  |  |  |  |
| IV. 開かれた運営      | 3 |   |  |  |  |  |
| V. 人材育成・援助技術の向上 | 2 | 1 |  |  |  |  |
| VI. 経営管理        | 2 | 1 |  |  |  |  |

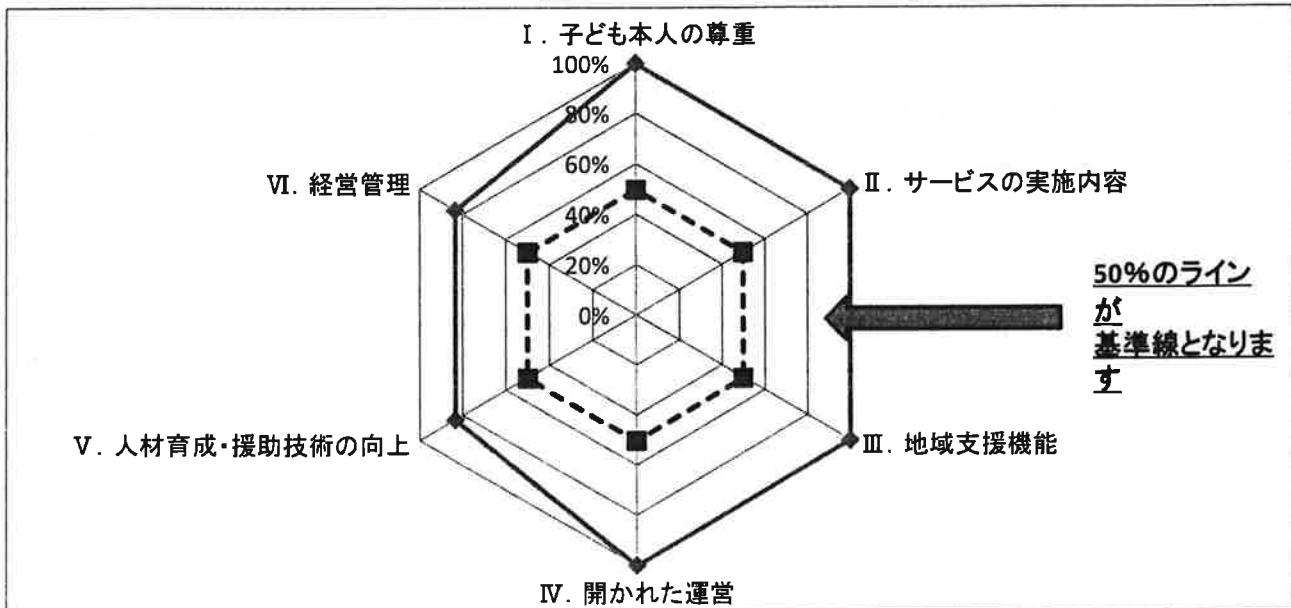
分類別評価結果の大項目 I ~ VI に「ひょう太」が 3 つの項目、2 つの項目、1 つの項目、それぞれ何項目あったかを表しています。



## 分 類別評価結果の分析・グラフ

|                 | 小項目数 | 点   | 割合   |
|-----------------|------|-----|------|
| I. 子ども本人の尊重     | 6    | 6   | 100% |
| II. サービスの実施内容   | 7    | 7   | 100% |
| III. 地域支援機能     | 2    | 2   | 100% |
| IV. 開かれた運営      | 3    | 3   | 100% |
| V. 人材育成・援助技術の向上 | 3    | 2.5 | 83%  |
| VI. 経営管理        | 3    | 2.5 | 83%  |

I ~ VI それぞれに含まれる項目数が「小項目数」、それに、ひょう太 3つ = 1点、2つ = 0.5点、1つ = 0点と換算したものを掛けたものが「点」、割合は大項目に含まれる小項目すべてが<ひょう太3つ>の場合を100%としたものです。



## 評価結果比較（ナーサリースクールT&Y中央林間）

(評価分類のABC評価は評価項目から算出)

| 評価領域--評価項目       | 内容   | 自己評価 | 第三者評価 |
|------------------|--|------|-------|
| 評価領域 I           | 利用者本人（子ども本人）の尊重                                |      |       |
| 評価分類 I - 1       | 保育方針の共通理解と保育課程等の作成                             | A    | A     |
| 評価項目 I - 1 - (1) | 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。 | A    | A     |
| 評価項目 I - 1 - (2) | 保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。    | A    | A     |
| 評価項目 I - 1 - (3) | 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。     | A    | A     |
| 評価分類 I - 2       | 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施                          | A    | A     |
| 評価項目 I - 2 - (1) | 入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。                 | A    | A     |
| 評価項目 I - 2 - (2) | 新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。                          | A    | A     |
| 評価項目 I - 2 - (3) | 子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。                     | A    | A     |
| 評価分類 I - 3       | 快適な施設環境の確保                                     | A    | A     |
| 評価項目 I - 3 - (1) | 子どもが快適に過ごせるような環境（清潔さ、採光、換気、照明等）への配慮がなされているか。   | A    | A     |
| 評価項目 I - 3 - (2) | 沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。                   | A    | A     |
| 評価項目 I - 3 - (3) | 子どもの発達に応じた環境が確保されているか。                         | A    | A     |
| 評価分類 I - 4       | 一人一人の子どもに個別に対応する努力                             | A    | A     |
| 評価項目 I - 4 - (1) | 子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。   | A    | A     |
| 評価項目 I - 4 - (2) | 子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。                | A    | A     |
| 評価分類 I - 5       | 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み                          | A    | A     |
| 評価項目 I - 5 - (1) | 特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。    | A    | A     |
| 評価項目 I - 5 - (2) | 障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。                  | B    | B     |
| 評価項目 I - 5 - (3) | 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。                 | B    | B     |
| 評価項目 I - 5 - (4) | アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。                   | A    | A     |
| 評価項目 I - 5 - (5) | 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して配慮がされているか。             | A    | A     |

| 評価領域・評価項目          | 内容   | 自己評価 | 第三者評価 |
|--------------------|--|------|-------|
| 評価分類 I - 6         | 苦情解決体制   | B    | A     |
| 評価項目 I - 6 - (1)   | 保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。                        | A    | A     |
| 評価項目 I - 6 - (2)   | 要望や苦情を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。                              | B    | A     |
| 評価領域 II            | サービスの実施内容  |      |       |
| 評価分類 II - 1        | 保育内容（遊び）   | A    | A     |
| 評価項目 II - 1 - (1)  | 子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。       | A    | A     |
| 評価項目 II - 1 - (2)  | 遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。                                     | A    | A     |
| 評価項目 II - 1 - (3)  | 動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。            | A    | A     |
| 評価項目 II - 1 - (4)  | 子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。 | A    | A     |
| 評価項目 II - 1 - (5)  | 遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。                        | A    | A     |
| 評価項目 II - 1 - (6)  | 積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。                                  | A    | A     |
|                    | 保育内容（生活）   | A    | A     |
| 評価項目 II - 1 - (7)  | 食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。   | A    | A     |
| 評価項目 II - 1 - (8)  | 食事の場、食材、食器等に配慮しているか。                                       | A    | A     |
| 評価項目 II - 1 - (9)  | 子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。                         | A    | A     |
| 評価項目 II - 1 - (10) | 子どもの食生活について、家庭と連携しているか。                                    | A    | A     |
| 評価項目 II - 1 - (11) | 午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。                             | A    | A     |
| 評価項目 II - 1 - (12) | 排泄は個人差がある事を十分に配慮して対応しているか。                                 | A    | A     |
| 評価分類 II - 2        | 健康管理・衛生管理・安全管理   |      |       |
|                    | （健康管理）   | A    | A     |
| 評価項目 II - 2 - (1)  | 子どもの健康管理は、適切に実施されているか。                                     | A    | A     |
| 評価項目 II - 2 - (2)  | 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。                                  | A    | A     |
| 評価項目 II - 2 - (3)  | 感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。                         | A    | A     |
|                    | （衛生管理）   | B    | A     |
| 評価項目 II - 2 - (4)  | 衛生管理が適切に行われているか。   | B    | A     |

| 評価領域・評価項目   | 内容                                      | 自己評価 | 第三者評価 |
|-------------|---|------|-------|
|             | (安全管理)                                  | A    | A     |
| 評価項目Ⅱ－2－(5) | 安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されている。 | A    | A     |
| 評価項目Ⅱ－2－(6) | 事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。             | A    | A     |
| 評価項目Ⅱ－2－(7) | 外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。                | A    | A     |
| 評価分類Ⅱ－3     | 人権の尊重                                   | A    | A     |
| 評価項目Ⅱ－3－(1) | 保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。    | A    | A     |
| 評価項目Ⅱ－3－(2) | 必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。   | B    | A     |
| 評価項目Ⅱ－3－(3) | 個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。         | A    | A     |
| 評価項目Ⅱ－3－(4) | 性差への先入観による役割分担意識を植え付けないよう配慮しているか。       | A    | A     |
| 評価分類Ⅱ－4     | 保護者との交流・連携                              | C    | A     |
| 評価項目Ⅱ－4－(1) | 保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力している。              | B    | A     |
| 評価項目Ⅱ－4－(2) | 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等をおこなっている。      | A    | A     |
| 評価項目Ⅱ－4－(3) | 保護者の相談に応じているか。                          | B    | A     |
| 評価項目Ⅱ－4－(4) | 保育内容（行事を含む）など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。     | A    | A     |
| 評価項目Ⅱ－4－(5) | 保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。                | A    | A     |
| 評価項目Ⅱ－4－(6) | 保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。             | C    | B     |
| 評価領域Ⅲ       | 地域支援機能                                  |      |       |
| 評価分類Ⅲ－1     | 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供                  | C    | A     |
| 評価項目Ⅲ－1－(1) | 地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。         | B    | A     |
| 評価項目Ⅲ－1－(2) | 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。 | C    | A     |
| 評価分類Ⅲ－2     | 保育所の専門性を活かした相談機能                        | C    | A     |
| 評価項目Ⅲ－2－(1) | 地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。                 | C    | A     |
| 評価項目Ⅲ－2－(2) | 相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。      | B    | A     |

| 評価領域-評価項目    | 内容   | 自己評価 | 第三者評価 |
|--------------|--|------|-------|
| 評価領域IV       | 開かれた運営   |      |       |
| 評価分類IV-1     | 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ                              | A    | A     |
| 評価項目IV-1-(1) | 保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。                          | A    | A     |
| 評価項目IV-1-(2) | 子どもと地域との交流により、子どもとの生活の充実と地域の理解を深めているか。               | A    | A     |
| 評価分類IV-2     | サービス内容等に関する情報提供                                      | B    | A     |
| 評価項目IV-2-(1) | 将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。                  | B    | A     |
| 評価項目IV-2-(2) | 利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。                              | A    | A     |
| 評価分類IV-3     | ボランティア・実習の受け入れ                                       | C    | A     |
| 評価項目IV-3-(1) | ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。                           | B    | A     |
| 評価項目IV-3-(2) | 実習生の受け入れを適切に行っているか。                                  | C    | A     |
| 評価領域V        | 人材育成・援助技術の向上   |      |       |
| 評価分類V-1      | 職員の人材育成  | C    | A     |
| 評価項目V-1-(1)  | 保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。                 | C    | A     |
| 評価項目V-1-(2)  | 職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。                               | B    | A     |
| 評価項目V-1-(3)  | 非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。                                | A    | A     |
| 評価分類V-2      | 職員の技術の向上   | C    | A     |
| 評価項目V-2-(1)  | 職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の技術の向上に取り組んでいるか。                 | C    | A     |
| 評価項目V-2-(2)  | 保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずから実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。       | B    | A     |
| 評価項目V-2-(3)  | 保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。                    | C    | A     |
| 評価分類V-3      | 職員のモチベーションの維持  |      | B     |
| 評価項目V-3-(1)  | 本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。                |      | B     |
| 評価領域VI       | 経営管理   |      |       |
| 評価分類VI-1     | 経営における社会的責任  | C    | A     |
| 評価項目VI-1-(1) | 事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。                      | C    | A     |
| 評価項目VI-1-(2) | サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。 | A    | A     |

| 評価領域・評価項目    | 内容  | 自己評価 | 第三者評価 |
|--------------|---|------|-------|
| 評価分類VI-2     | 施設長のリーダーシップ・主任の役割等                        | C    | A     |
| 評価項目VI-2-(1) | 保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。              | A    | A     |
| 評価項目VI-2-(2) | 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。 | C    | A     |
| 評価項目VI-2-(3) | 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。          | B    | A     |
| 評価分類VI-3     | 効率的な運営                                    | C    | B     |
| 評価項目VI-3-(1) | 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。  | C    | A     |
| 評価項目VI-3-(2) | 保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を設定しているか。             | C    | B     |

## 評価分類

|     |    |    |
|-----|----|----|
| Aの数 | 11 | 23 |
| Bの数 | 3  | 2  |
| Cの数 | 9  | 0  |

## 評価項目

|     |    |    |
|-----|----|----|
| Aの数 | 45 | 65 |
| Bの数 | 14 | 5  |
| Cの数 | 11 | 0  |
|     | 70 | 70 |

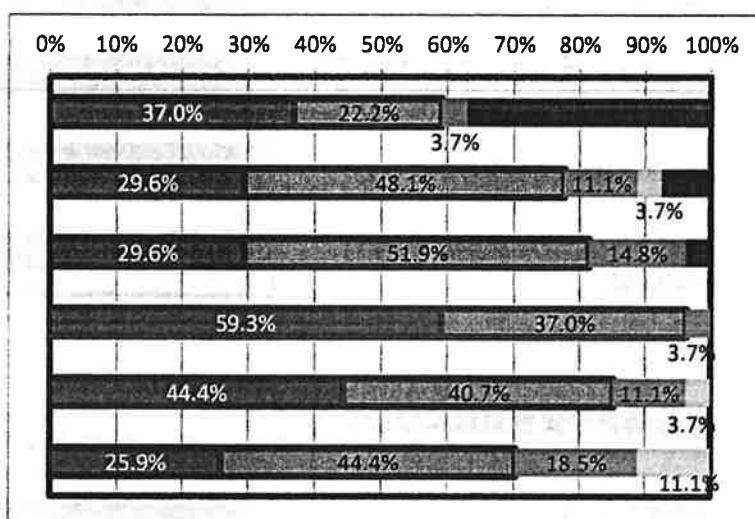
## 利用者家族アンケート 集計結果分析1

家族アンケート問8 総合満足度で満足（32.5%）、どちらかといえば満足（35.0%）と回答した家族の方の各設問の状況

満足  どちらかといえば満足  どちらかといえば不満  不満  その他  無回答

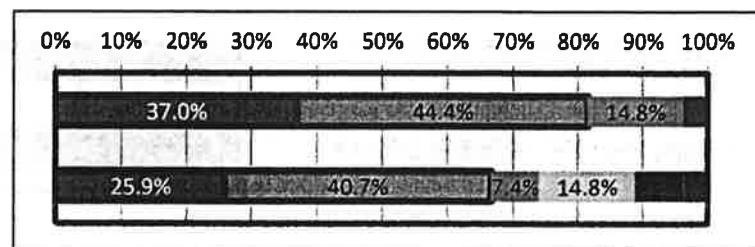
### 問2 入園時の状況

- 見学の受け入れについて
- 入園前の見学、説明など情報提供について
- 園の目標・方針の説明には
- お子さんの生育歴などを聞く対応には
- 保育園での1日の過ごし方の説明は
- 費用やきまりの説明には（入園後食い違いがなかったか）



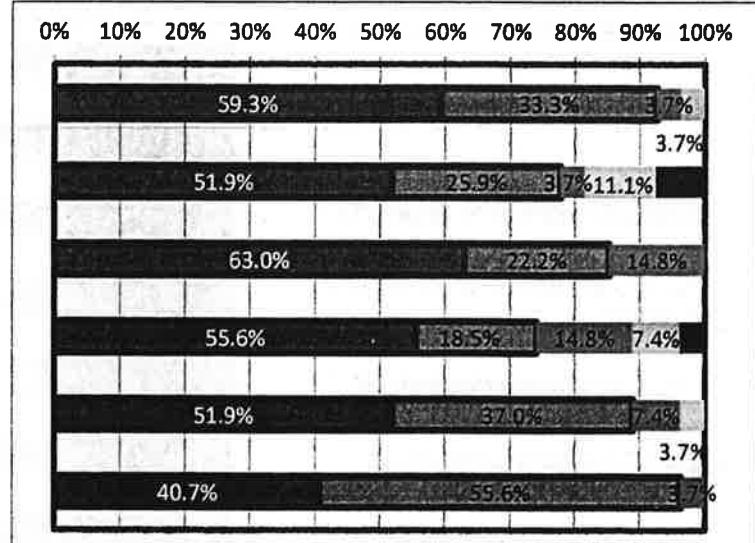
### 問3 園の年間の計画について

- 年間の保育や行事の説明には
- 年間の保育や行事に要望がいかされているか



### 問4 保育内容について(遊び)

- クラス活動や遊びについては
- 戸外遊びを十分にしているかについて
- 園のおもちゃや教材については
- 自然に触れたり地域に関わるなど、園外活動について
- 遊びを通じ友だちや保育士との関わりが十分にもてているかについて
- 遊びを通じた健康づくりへの取り組みについては



**問4 保育内容について(生活)**

給食の献立内容については

給食を楽しんでいるかについて

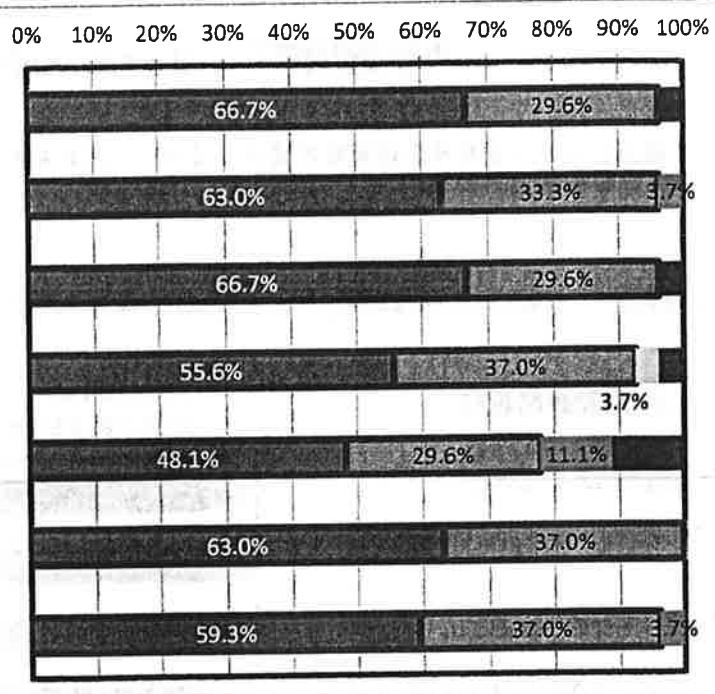
基本的生活習慣の自立に向けての取り組みには

昼寝や休憩が状況に応じて対応されているかなどについては

おむつはずしは家庭と協力し、成長に合わせ柔軟に行われているかについては

お子さんの体調への気配りについて

保育中にあったケガに関する説明やその後の対応には

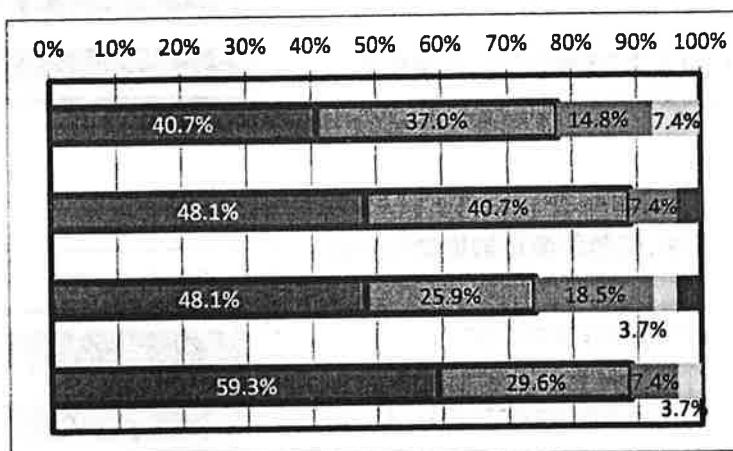
**問5 快適さや安全対策について**

施設設備については

落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについて

外部からの不審者侵入を防ぐ対策については

感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については

**問6 園と保護者との連携・交流**

保護者懇談会や個別面談など、話合いの機会については

園の様子や行事に関する情報提供について

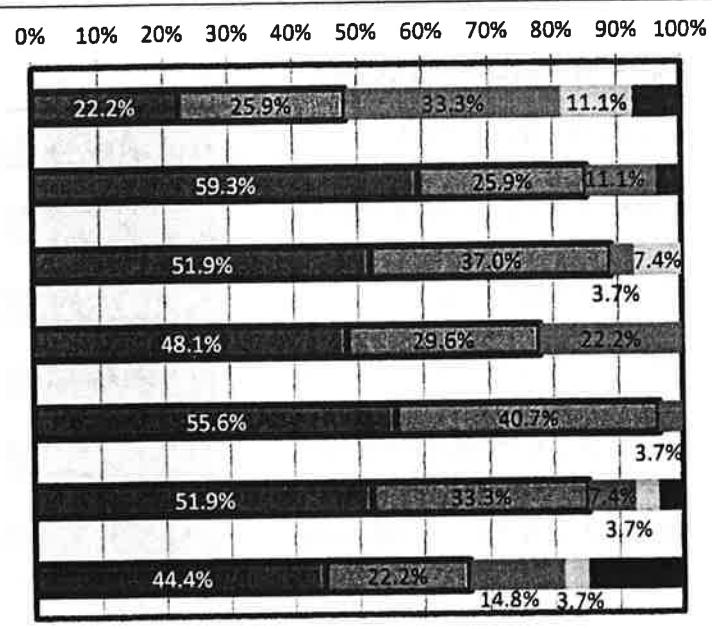
行事の開催日や時間帯への配慮について

送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報提供について

お子さんの重要な情報の連絡体制につ

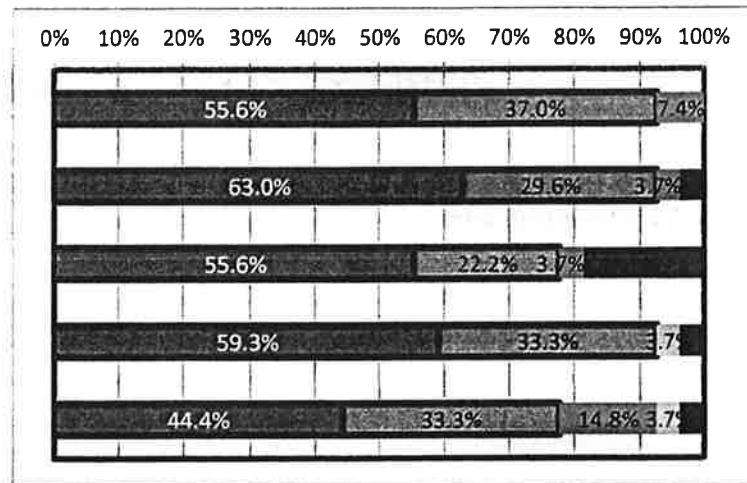
保護者からの相談事への対応には

残業などで迎えが遅くなる場合の柔軟な対応について



## 問7 職員の対応について

- あなたのお子さんが大切にされている  
あなたのお子さんが保育園を楽しんで  
いるかには  
アレルギーや障害のあるお子さんへの  
配慮については  
話しやすい雰囲気、態度であるかどう  
意見や要望への対応については



総合満足度で「満足」（32.5%）、「どちらかといえば満足」（35.0%）と回答した家族は以下の項目で特に満足しています。

1位「給食の献立内容について」、「基本的生活習慣の自立に向けての取り組みについて」で66.7%が「満足」しています。続いて「園のおもちゃや教材については」、「給食を楽しんでいるかについて」「お子さんの体調への気配りについて」で63.0%となっています。一方で「戸外遊びを十分にしているかについては」「保護者懇談会や個別面談など、話合いの機会については」では「不満」が11.1%となっており、「保護者懇談会や個別面談など、話合いの機会については」では「どちらかといえば不満」（33.3%）も含めると44.4%が不満を感じています。

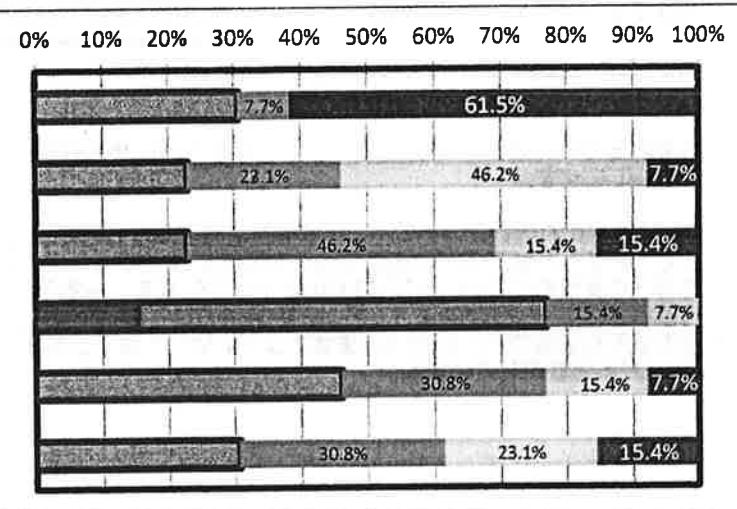
## 利用者家族アンケート 集計結果分析2

家族アンケート問8 総合満足度でどちらかといえば不満（22.5%）、不満（10.0%）と回答した家族の方の各設問の状況

満足  どちらかといえば満足  どちらかといえば不満  不満  その他  無回答

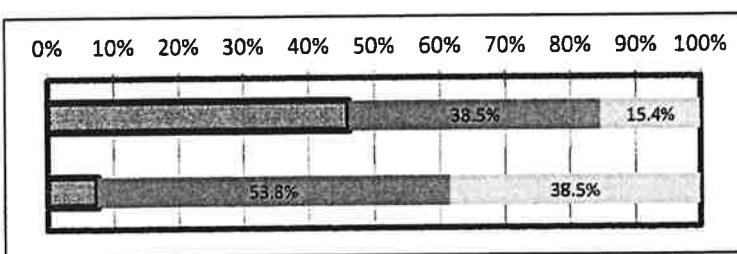
### 問2 入園時の状況

- 見学の受け入れについて
- 入園前の見学、説明など情報提供について
- 園の目標・方針の説明には
- お子さんの生育歴などを聞く対応には
- 保育園での1日の過ごし方の説明は
- 費用やきまりの説明には（入園後食い違いがなかったか）



### 問3 園の年間の計画について

- 年間の保育や行事の説明には
- 年間の保育や行事に要望がいかされているか



### 問4 保育内容について(遊び)

- クラス活動や遊びについては
- 戸外遊びを十分にしているかについて
- 園のおもちゃや教材については
- 自然に触れたり地域に関わるなど、園外活動について
- 遊びを通じ友だちや保育士との関わりが十分にもてているかについて
- 遊びを通じた健康づくりへの取り組みについては

